

6-2. スーパーボンドの臨床応用例

2. ディボンディングの器具について

現在のスーパーボンドの原型として1982年2月に発売された「オルソマイトスーパーボンド」は歯科矯正専用接着材として開発された。

矯正用途に於いてスーパーボンドはエナメル質に確実に接着するだけでなく、各種矯正装置（金属・プラスチック・陶材等）に対しても強固な接着力を発揮する。

その一方でMMA/PMMAの重合体からなるしなやかなスーパーボンドの硬化体は、ブラケット除去用リムーバー等で剥離応力を加えることにより、エナメル剥離を起こすことなく安全にディボンディングが可能である。

●ディボンディングに使用する器具について

動的治療終了後に簡単で安全なブラケット撤去を行うためには、剥離応力をかけることが出来る撤去用プライヤーを使用する。



ブラケット撤去用プライヤーの例

●ブラケット撤去用プライヤー使用時のポイント

プライヤーをブラケットウィングに差し込み、歯頸部側から唇側に持ち上げるようにしてブラケットを剥離させる。

剥離応力が掛かることにより、スーパーボンドの硬化体内で凝集破壊が起こり、エナメル質が破壊されることなくディボンディングが出来る。

●歯面に残留したスーパーボンドの除去について

歯面に残留したスーパーボンドの硬化体はレジジン除去用のプライヤーで大まかに除去する。

その後、スケーラー等を用いて丹念に歯面からこすり取り、最後に歯質表面を研磨して除去作業が完了する。



レジジン除去用プライヤーの例